



3 中



Love  
triple C

小平第三中学校だより

令和7年度 第5号

令和7年9月発行



「秋津虫」は…

校長 平沢 晃

夏休みが終わり、二学期が始まりました。とにかく今年の夏は暑い夏でした。猛暑という言い方が今では聞き慣れてきていますが、日本気象協会では日最高気温が40度以上、夜間の最低気温が30度以上の夜の表現が定まっていなかったことから、気象予報士の方にアンケートを行い、40度以上の日を「酷暑日」、夜間の最低気温が30度以上の夜を「超熱帯夜」と言おうということが決まったそうです。暑さへの関心を高め、熱中症の予防啓発や注意喚起のために役立てていくということでした。

東京では今年の年間猛暑日の日数は9月8日時点で29日目となりました。連続猛暑日数と年間猛暑日の最多日数、ともに記録を更新しました。本当に暑い夏でしたが、みなさまは、どのような夏休みをお過ごしになられたでしょうか。

遅くなりましたが、この夏休み期間中、大きな事故もなく、44日間の夏休みが終わりました。1日の始業式には生徒たちの元気な姿が戻ってきました。学校は生徒たちがいてこそ本来の姿になります。無事に二学期の始業式を迎えることができましたのも、保護者の皆様、地域の方々のご支援・ご協力のおかげです、ありがとうございます。

この夏休み期間中、三中生は暑さに負けずに、学習教室や部活動の練習、そして対外試合やコンクールなどに取り組んでいる姿が見られました。自分で目標を立て個々に取り組んだ人、チームで一つの目標に向かって取り組んだ人などさまざまあったと思います。特に3年生にとっては中学校生活最後の夏、精一杯に、心も熱く取り組んでいたと思います。

結果は個々の取り組みと同様に様々です。いい結果が得られた場合も、思い描いたものと違った結果になった場合もあったことでしょう。しかし、取り組んだ事は間違いなく大きな糧としてそれぞれの中に残っています。また、先輩の姿は後輩へと受け継がれていったと思います。「夏の努力は秋に花開く」という言葉があるよう、この夏の成果をぜひとも二学期に生かしてほしいと思っています。

9月になりましたが、これからもまだ残暑が続きそうです。その暑い中、3年生は関西方面へ修学旅行に出かけてきました。全員で協力し合い、立派な旅を作ってくれました。二学期のスタートの大きな行事が滞りなく実施できたのが嬉しい限りです。3年生にとっていい思い出となってくれると思います。

しかし、季節はやはり移り変わるもので、校庭を吹き抜ける風や日の暮れる時間が早くなり、虫たちの鳴き声も少しずつ聞こえるようになってきました。暑さのせいでしょうか今一つ盛んにとはいかないような感じがしています。秋を代表する虫、この虫の姿もまだ見かけていません…秋津虫をご存じでしょうか。トンボのことです。古くは奈良時代、もしかしたらもっと前から、トンボは「秋津」「あきつ」「あきづ」と呼ばれ、秋の虫として代表的な昆虫となっています。「あきつ」の「つ」は今で言う格助詞の「の」に当たり、「秋津」とはつまり「秋の」となり、「秋津虫」とは「秋の虫」を意味します。トンボは素早く飛び回り害虫を捕らえ、また前にしか進まず退かないところから「不転退（退くに転ぜず、決して退却をしない）」の精神を表すものとして、「勝ち虫」と呼ばれ、縁起物として昔、武士に喜ばれました。戦国時代には兜や鎧などの武具、そして陣羽織や印籠の装飾に用いられています。こんな思いや物への表し方に自然を愛する日本を感じます。そんな由来のあるトンボたちが待ち遠しい今日この頃です。

さて、二学期は、秋という過ごしやすい季節の中で一番長い期間となります。



そして充実の期間にあたります。それに合わせ行事や様々な取り組みが予定されています。以前より準備を進めてきました3年生修学旅行(6日~8日に実施しました。暑い中、しっかりと取り組んでくれました。)生徒会役員選挙、2年生・10組職場体験、音楽祭、さわコミの日や薬物乱用防止教室などを予定しています。それら一つ一つの体験や活動を通して、生徒一人一人が自分自身の目標をもち、その達成のために毎日の生活をパワフルに充実したものにし、実りの多い二学期にしてほしいと思います。小平第三中学校一同、生徒共々教職員一同、頑張ってまいります。一人一人が勝ち虫「トンボ」にあやかり、軽やかに舞い、前に進んでいきますように。保護者の皆様、この二学期も引き続きご支援ご協力のほどお願ひいたします。残暑が終わり、清々しい秋……心待ちにしています。

## 教育活動アンケート



教育活動アンケート(生徒・保護者)

	アンケート項目	肯定的回答			否定的回答		
		生徒	保護者	合計	生徒	保護者	合計
学力向上	1 学校は、指導方法や学び方の工夫を進め、生徒の学習意欲を高めている。	88.3%	62.6%	83.6%	8.6%	13.7%	10.3%
	2 学校は、朝読書や図書館協力員等の支援を通して、読書習慣が身に付くように指導している。	82.5%	66.5%	78.6%	11.7%	8.0%	10.3%
	3 学校は、学習方法についてアドバイスを与えたり、オンライン学習を進めるなど、生徒が自ら学ぶ機会を設けるよう努めている。	90.3%	62.9%	81.2%	7.0%	13.3%	9.1%
健全育成	4 学校は、あいさつや身だしなみ、ルールを守ることなど基本的な生活習慣を身に付けさせている。	96.2%	88.8%	93.8%	1.6%	4.0%	2.4%
	5 学校は、いじめや不登校などに組織的かつ適切に対処している。	78.6%	51.1%	69.6%	7.2%	7.2%	7.2%
	6 学校は、生徒会活動や委員会活動の充実を図り、生徒の主体性や自己有用感を高めている。	87.2%	75.5%	84.0%	2.0%	5.9%	5.4%
特別支援教育	7 学校は、生徒個々の特性に対して理解を深め、支援の必要な生徒に対して丁寧かつ適切な指導を行っている。	85.6%	48.2%	73.1%	6.1%	7.5%	6.6%
	8 学校は、カウンセラーやソーシャルワーカーなどを通し、悩み事や困り事に 대해相談できる体制が整っている。	85.2%	69.7%	80.1%	5.4%	3.2%	4.7%
	9 学校は、特別支援学級担当による通常学級での障がい者理解授業や行事などの交流学習を通して相互に関わりがもてるよう努めている。	77.1%	49.6%	67.9%	13.2%	4.3%	10.2%
キャリア教育	10 学校は、職業調べ、上級学校訪問について、計画的に指導している。	84.7%	65.5%	78.3%	3.6%	6.4%	4.6%
	11 学校は、生徒に夢や希望をもたせ自己の将来を考えようとする態度を育てている。	84.3%	43.5%	70.7%	6.1%	14.2%	8.9%
その他	12 学校は、学校だより、学年だよりやホームページなどを通して学校の情報を積極的に伝えている。	89.4%	92.5%	90.6%	2.2%	4.3%	2.9%
	13 学校は、学校支援コーディネータや学生ボランティアなど地域や外部の人材を活用している。	82.2%	71.9%	78.8%	3.6%	3.6%	3.6%
	14 学校は、校舎内外の清掃が行き届き、整美委員会や園芸緑化活動により学校環境が整備されている。	86.3%	83.1%	85.2%	9.0%	4.0%	7.3%
	15 学校は、部活動を通して運動の楽しさや文化的活動の喜びを味わわせようとしている。	89.5%	80.2%	86.9%	5.0%	8.9%	6.4%
	16 お子さんは毎日学校へ楽しく通っている。	80.0%	80.9%	80.3%	12.1%	16.1%	13.4%

回答数 生徒 555人 保護者 278人 合計 833人 で算出

1学期末に実施しました教育活動アンケートへのご協力ありがとうございました。

今回の結果ですが、生徒・保護者合計で肯定的な回答が健全育成の1項目5の結果、特別支援教育の1項目9の結果が60%代となった以外、70%を超える回答結果となりました。

生徒、保護者別では、生徒のすべての項目で肯定的回答が70%を超える結果となり、保護者の回答では特別支援教育の2項目、7・9の項目で40%代と低くなりました。しかし、生徒回答では両項目とも70%を超えており、全体的に生徒回答より保護者回答が低くなっている傾向が見られます。

職場体験などこれから後期に実施する取り組みもありますので、今後の取り組みをさらに充実させるとともに、どの様な取り組みをおこなっているかなどの啓発、ご理解の促進を図っていければと思います。また、全項目において肯定的な回答がさらに高まるよう、努めていきたいと思います。

令和6年度前半の小平第三中学校の教育活動へのご協力をありがとうございました。

引き続きご協力をお願いいたします。



### 修学旅行を終えて



### 「灼熱」に始まり「どしゃ降り」で終わった二泊三日 - 修学旅行を終えて -



今回の修学旅行は初日から残暑とは形容し難い暑さから始まり、最後の花小金井駅でのチェックではゲリラ豪雨に見舞われるなど、やはりこの学年らしさ(1年次スキー教室大雪、1年次、3年次運動会雨天順延)を感じることのできた修学旅行となりました。行程の大半をクラス、班で生活する中で、これまでの学校生活で学んだ集団生活を生かす集大成として臨んだ修学旅行で学んだこと、体験したこと、感じたことは、生徒にとって中学校生活の思い出の一つとして刻まれたことでしょう。今の自分だからこそ感じた感性が大人になって再び京都・奈良を訪れた時に、どんな感じ方をするのかということも、昔変わらずの伝統や文化が生きる京都・奈良の楽しみ方の一つかもしれません。

私自身も久しぶりに訪れる見学地をまわる中で、訪れた寺社仏閣の中に、今まで気がつかなかった一面を見つけるなど多くの学びがありました。訪れるたびに新しい発見がある。古都と呼ばれる京都や奈良の魅力の一つでしょう。再び京都・奈良を訪れる際には、今回の修学旅行のことをぜひ思い返してほしいと思います。

今の自分だからできる時間を大切に過ごすことが、時間が経った時の自分の礎となっているはずです。残りわずかな中学校生活の過ごし方が、その先の自分に様々な影響を与えてくれることでしょう。ぜひ、中学校での時間を惜しむことのできる確かな軌跡をこれからの中学校生活に刻んでいきましょう。



修学旅行お疲れさまでした。

【第3学年主任】

## 音楽祭に向けて



今年度の音楽祭のスローガンは「繋げ～音色(ハーモニー)の糸をひとつに～」に決まりました。

このスローガンには、順位という面ではライバルになるけれど、三中生全員で音楽祭を成功させるために心を一つにして歌声を繋いでいこうという思いが込められています。

今年度の三中は生徒の在籍人数が増え、クラス数が2クラス増えたことで、全学年が一緒に音楽祭を行うことが難しいのではという意見もありました。

三年生の合唱を1・2年生に聴かせたいという文化行事委員の先生方の思いが強く、時間短縮で従来の演出内容の変更などを行い、全学年で開催することになりました。

このスローガンを胸に、10月16日(木)から始まる音楽祭の特別練習にどのクラスも全力で頑張ってもらいたいです。



【文化行事委員長】

## ご挨拶



このたび、産休・育休を終えて9月より復帰いたしました、英語科の●●です。

久しぶりに会った生徒たちが大人の顔つきになっていて、月日の流れを実感するとともに、また共に学べることを嬉しく思っています。この1年間、自分自身が子育てを経験するなかで、保護者の皆様のご苦労や温かさに、あらためて深い尊敬の念を抱くようになりました。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

【2学年所属】

## 生徒の活躍



### ○陸上競技

・第37回東京ジュニア陸上競技大会 シャベリングスロー 34m61 【7位】

### ○サッカー

・令和7年度小平市1年生大会 【優勝】

・第41回小金井招待サッカーフェスティバル 【優勝】 【最優秀賞】1名

・小平市中学校サッカー大会(サマーカップ)

【優勝(3年連続)】 【ベストイレブン】1名 【最優秀選手】1名

### ○水泳

・第64回東京都中学校総合体育大会 女子800M自由形 【第4位】9分51秒11

### ○ソフトテニス

・第45回東京都中学校ソフトテニス選手権大会 個人戦 【ベスト32】

・第10ブロック夏季学年別大会 1年生の部 【第3位】

### ○女子バレーボール

・小平市夏季市民大会 【準優勝】

### ○吹奏楽

・第65回東京都吹奏楽コンクール A組 【金賞・都大会代表選出】

## これからの予定



○9月24日(水)～9月25日(木)

・職場体験(10組)

○9月26日(金)

・薬物乱用防止教室

○9月29日(月)～9月30日(火)

・中間考查

○10月1日(水)

・職場体験事前訪問(2年生)

